

経済学研究科アドミッションポリシー（入学者に関する受入れ方針）

○ 経済学研究科修士課程専修コース

一橋大学大学院経済学研究科修士課程においては、高度な経済学理論を理解し、複雑な経済・社会の現状を的確に認識して論理的に課題を切り出し、これを分析する能力が求められます。このことから当課程では、経済理論を理解する上での数学力、理論的なフレームワークを批判的に議論できる論理力、また現象を捉えて的確な論理構成で示しうる日本語および英語での表現力を備えた学生を受け入れます。

また、経済・社会現象を、その歴史的個性の相において理解できる構想力も求められます。つまり、経済学的に課題を組み立て、よりよい解決策を提言するためには、経済学の知識とともに、課題の背後にある歴史学的および地理学的視点も必要とされます。経済現象を幅広い視野と多角的見地から分析できる解析力や、幅広い一般的知識とそれを深化させる理解力もまた求められます。

○ 経済学研究科修士課程研究者養成コース・博士後期課程

一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程への進学要件は、本研究科の修士課程を修了した者ないし相当学力を備えた者で、当課程における研究活動を遂行するに十分な素養を備えている必要があります。修士課程修了および当課程進学については、以下の要件を満たすことが求められています。

- 1 コア科目8単位以上を、「B」以上の成績で修得していること。この進学要件で用いたコア科目8単位分を除き、その他400番台ないし500番台の経済学研究科講義科目10単位以上を、以下の算出方法により、平均3.0以上で修得していること。【算出方法：A+を4.3、Aを4.0、Bを3.0、Cを2.0とし、単位数により加重平均をとるものとする】
- 2 博士後期課程進学資格試験（コンプ）に1科目以上合格していること。
- 3 博士後期課程進学試験に出願し、これに合格すること。

博士後期課程進学資格試験（Comprehensive Examination、通称「コンプ」）とは、原則として経済学研究科の修士課程在学者を対象として、博士後期課程進学に必要な基礎学力の有無を調べるための筆記試験です（秋（9月）と春（2月）の年2回実施）。コンプの科目は、①ミクロ経済学、②マクロ経済学、③政治経済学、④統計学・計量経済学、

⑤経済史の5科目で、博士後期課程に進学希望の学生は、5科目のうち少なくとも1科目以上に修士課程2年次修了までに合格しなければなりません。ただし、各科目の受験可能回数は3回までであります。各科目の出題範囲や合格の目安は、秋（9月）のコンプについては5月頃、春（2月）のコンプについては10月頃に公表されます。

他方、他大学の修士課程を修了して当課程に進学を希望する学生は、上記コンプ試験を博士課程編入学試験として課しています。実施要領は以上の通りです。

これらの試験で求める資質は、国際学界で共有される種々の課題についての的確な理解力、それらの課題を取り巻く経済社会の現実を把握しうるアクチュアルな認識能力、また、これまで国際学界で蓄積されてきた研究状況を的確に認識して、自らの課題を伝達できる数学及び外国語による表現力になります。